

別表5 (第13条関係)

大規模超並列スーパーコンピュータシステム利用負担金表 (Oakbridge-CX システム)

区 分		利 用 負 担 金 額
大規模超並列スーパーコンピュータシステム	パーソナルコース	基本セット (年額) 【大学・公共機関等 100,000 円】 (最大3セットまで, 利用期間は1ヶ月単位で設定可) トークン 8,640 ノード時間(1 ノード×360 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム 4 TB (いずれも 1 セット当たり)
	グループコース	基本セット (年額) 【大学・公共機関等 100,000 円, 企業 120,000 円】 (複数セット申込可, 利用期間は1ヶ月単位で設定可) トークン 8,640 ノード時間(1 ノード×360 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (いずれも 1 セット当たり) 利用登録番号数 制限なし
	グループコース (ノード固定)	基本セット (年額) 【大学・公共機関等 150,000 円, 企業 180,000 円】 (1 ノード1 年分, 複数セット申込可, 利用期間は1ヶ月単位で設定可) トークン 8,640 ノード時間(1 ノード×360 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB (いずれも 1 セット当たり) 利用登録番号数 制限なし
	ディスク容量追加	並列ファイルシステム 1 TB につき 【6,480 円/年】
	トークン追加	【大学・公共機関等 8,400 円, 企業 10,000 円】 720 ノード時間(1 ノード×30 日相当)

(注) 上記の利用負担金額は総額表示である。尚, 月数別利用負担金については別表6に定める。

最小セット利用負担金表 (Oakbridge-CX システム)

区 分		利 用 負 担 金 額
大規模超並列スーパーコンピュータシステム	パーソナルコース	最小セット 【大学・公共機関等 8,400 円】 トークン 720 ノード時間(1 ノード×30 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム 4 TB 利用期間 当該年度末まで
	グループコース	最小セット 【大学・公共機関等 8,400 円】 トークン 720 ノード時間(1 ノード×30 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB 利用期間 当該年度末まで 利用登録番号数 制限なし
	グループコース (ノード固定)	最小セット 【大学・公共機関等 12,500 円】 トークン 720 ノード時間(1 ノード×30 日相当) トークン消費係数 1.00 ※ ※ 消費係数 1.50 のノード群(優先利用向け)を全体の 15%程度設ける ディスク容量 並列ファイルシステム グループにつき 4 TB 利用期間 当該年度末まで 利用登録番号数 制限なし
	ディスク容量追加	並列ファイルシステム 1 TB につき 【6,480 円/年】
	トークン追加	【大学・公共機関等 8,400 円】 720 ノード時間(1 ノード×30 日相当)

備考

- 「大学・公共機関等」は第3条第1号, 第2号, 第3号, 第4号, 第6号および第8号に該当する者に適用する
- 「企業」は第3条第7号に該当する者に適用する
- 利用期間については利用開始月から当該年度のサービス終了月までとし, 年度を超えないものとする。利用期間の指定がある場合は利用終了月までとする
- トークンはジョブ実行ごとにノード時間積(経過時間×ノード数×消費係数)を消費するものとし, トークン残量が無くなった場合には, ジョブ実行は抑止される。但し, 計算リソースの状況によって非優先ジョブの実行を許可するものとする
- 計算資源を予約する申込においては, 予約した期間およびノード数に相当するジョブ実行を行ったものみなして, トークンを消費するものとする
- トークンは利用期間内に限り有効とし, 利用終了後にトークンの残量がある場合でも引継ぎおよび利用負担金の返還は行わない
- トークンとして付与したノード時間積は, 利用期間内に全量が使用できることを保証するものではない
- トークンの一部を他のスーパーコンピュータシステムへ移行することができる。移行元と移行先でのノード時間積の対応については別表9に定める
- ノード固定は審査によって認められた利用期間およびノード数にて占有利用できるものとする。但し, トークン残量が無くなった時点で占有は解除される
- ノード固定の申込に提供するリソースは, 申込状況やシステムの稼働状況により変更する場合がある。変更となった場合の負担金額の適用については申し合わせによるものとする。
- 追加オプションは利用期間内に限り有効とする
- 追加オプションの負担金額は追加単位額に追加する資源量および利用期間を乗じたものとする
- 申込全体のノード時間積が提供可能なノード時間積の1.2倍を超えない場合に限り受け付けるものとする。但し, 企業, 若手・女性, 大規模 HPC チャレンジ等の公募制度による利用, 講義・講習会等の教育利用およびトライアルユース等の申込においてはこの限りでない